124
2023年（令和５年）
1/23 発行
あなたと議会のかけ橋に

苓北町議会だより きずな

主な内容

- あいさつ……2
- 臨時会・定例会・全員協議会ほか…3～5
- 一般質問……6～11

令和５年苓北町消防出初式
志岐保育園幼年消防クラブによる放水

令和５年１月８日

発行　苓北町議会　TEL35-3337
編集　議会広報特別委員会

新年あけましておめでとうございます

苓北町議会　議長
錦戸俊春

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事と存じます。

昨年を振り返ってみますと、2月にはロシアによるウクライナへの軍事侵攻、異常気象、各地で台風襲来に伴う集中豪雨により、九州地方をはじめ、日本の各地に甚大な災害が発生を致しました。幸いにして、我が町には、大規模な災害は発生致しませんでしたが、各地で災害を受けられた方々には、衷心よりお見舞いと早期の復旧・復興をお祈り致します。また、ウクライナ情勢、円安、物価高騰、コロナ禍などに伴う経済の低迷により、日常生活が脅かされています。早い収束と景気回復を願うものです。

また、近年、本町の人口減少が著しく、令和4年12月末現在で人口6，569人、高齢化率43・7％となっています。今年度の国家予算も、編成されようとしていますが、その内容は年々厳しいものとなり我々地方自治体にとりましても、厳しい財政運営になると思います。

この度、町長・議員の改選がなされました。新体制の下、お互いに知恵を出し合い切磋琢磨して、最小限の予算で、最大限の町民サービス、福祉の向上、高齢者対策などに努めて行かなければなりません。今後も皆様方の町議会に対する、ご指導と、ご意見をお聞かせいただきますようお願い致します。

結びに、今年も皆様方の益々のご健勝・ご多幸と、町の更なる発展を祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。

こんなことが決まりました！！

令和４年　第７回議会臨時会　開催日：11月25日

■令和４年度　補正予算について（専決処分）

（単位：千円）

議案番号	事　件　名	補正前の額	補正額	補正後の額	備　　考	結果
承認第14号	一般会計補正予算（第5号）	5,323,756	70,411	5,394,167	住民税非課税世帯等に支給される1世帯5万円の価格高騰緊急支援給付金67,500千円の増ほか	◎

【結果の表示について】◎全会一致で可決

■令和４年度　補正予算について

（単位：千円）

議案番号	事　件　名	補正前の額	補正額	補正後の額	備　　考	結果
議案第51号	一般会計補正予算（第6号）	5,394,167	12,062	5,406,229	インフルエンザ予防接種委託料9,914千円の増、給与改定に伴う人件費の増ほか	◎
議案第52号	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	1,009,052	0	1,009,052	給与改定に伴う人件費の増ほかによる予備費の充用	◎
議案第53号	介護保険特別会計補正予算（第2号）	1,103,705	70	1,103,775	給与改定に伴う人件費の増による一般会計事務費繰入金の増	◎
議案第54号	水道特別会計補正予算（第3号）	208,956	0	208,956	給与改定に伴う人件費の増による予備費の充用	◎

【結果の表示について】◎全会一致で可決

■条例改正等について

議案番号	事　件　名	備　　考	結果
承認第13号	苓北町国民健康保険条例の一部を改正する条例（専決処分）	字句の修正	◎
議案第50号	苓北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告及び熊本県人事委員会勧告に伴う職員の給与等の改定	◎
報告第8号	損害賠償額の決定及び和解について	公用車の交通事故（物損）について損害賠償の額を決定し、これに伴う和解 損害賠償額　118,657円	―

【結果の表示について】◎全会一致で可決　ー報告につき採決なし

令和４年　第８回議会定例会　開催日：12月６日～８日

■令和４年度　各会計補正予算

（単位：千円）

議案番号	事　件　名	補正前の額	補正額	補正後の額	備　　考	結果
議案第56号	一般会計補正予算（第7号）	5,406,229	48,637	5,454,866	介護施設等物価高騰対策補助金、出産・子育て応援交付金等の増	◎
議案第57号	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	1,009,052	△ 2,136	1,006,916	一般会計繰入金の減等	◎
議案第58号	介護保険特別会計補正予算（第3号）	1,103,775	1,360	1,105,135	介護予防・日常生活圏域ニーズ予防調査委託料の増等	◎
議案第59号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	130,956	△ 1,852	129,104	後期高齢者医療広域連合納付金等の減	◎
議案第60号	水道特別会計補正予算（第4号）	208,956	30,221	239,177	志岐浄水場改良工事等の増等	◎
議案第61号	下水道特別会計補正予算（第3号）	341,681	772	342,453	公課費の増	◎
議案第62号	農業集落排水特別会計補正予算（第2号）	21,571	0	21,571	電気料の増等による精査	◎

【結果の表示について】◎全会一致で可決

■報告第９号

令和４年度苓北町定期監査の結果報告について

（報　告　者）登本代表監査委員

（監 査 結 果）

令和４年10月18日から10月31日まで実施した令和４年度の定期監査結果については、法令に違反するような事例は見受けられず、関係諸帳簿、証憑等はよく整理されており、係数においても誤りもなく適正に執行されていることを認めた。

■議案第55号

苓北町木場地区交流施設等の指定管理者の指定について

（名称・代表者）天草木場の杜　代表者　会長　善徳　誠

（住　　所）天草郡苓北町都呂々6118番地の２

（期　　間）令和５年４月１日から令和８年３月31日まで

原案可決

■議案第63号

熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について

（変更内容）「菊池環境保全組合」を削る。

原案可決

■陳情等文書の取り扱い結果

受理年月日／番号	件　　名	提　出　者	取扱方法
R４.11.25 陳情第８号	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める陳情書	熊本市中央区神水１－20－15 熊本県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長　一二三美香	議員配布
R４.11.25 陳情第９号	安全・安心の医療・介護実現のための人員増と処遇改善を求める陳情書	熊本市中央区神水１－20－15 熊本県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長　一二三美香	議員配布
R４.11.25 陳情第10号	介護保険制度の改善を求める陳情書	熊本市中央区神水１－20－15 熊本県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長　一二三美香	議員配布
R４.11.28 陳情第11号	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情	天草郡苓北町都呂々 金子正英	議員配布

全員協議会（令和４年12月７日開催）

1．紺屋町地区避難地アクセス道路他整備工事の入札について

標記工事入札について、入札後、再度、設計書を確認したところ、工事費の20％を超える違算となることが判明したため、入札を無効とした。

町執行部からは、関係者の皆さんに大変なご迷惑をお掛けしたとの謝罪がなされた。

町執行部からは、町道東目線と志岐漁港臨港道路の接続部における幅員を、予算の範囲内において、より安全性と利便性を高めるため拡幅する案で再設計し、年内に再度入札を行うこととしたいとの説明がなされた。

2．熊本県後期高齢者医療広域連合の議会議員の選出について

現在、議長を標記広域連合議会議員として選出しているが、令和５年２月４日で任期満了（４年）となる。

次期標記広域連合議会議員に町長を選出したい旨の説明が町執行部からなされた。

※「標記広域連合規約第８条第１項」

広域連合議会議員は、構成市町村の長及び議会の議員のうちから、各構成市町村議会において１人を選挙する。

熊本県町村議会議員研修会

令和４年度熊本県町村議会議員研修会が10月４日、熊本市の熊本県立劇場において開催され、県内の町村議会議員、事務局職員等約３８０人が出席、苓北町議会から９人の議員が出席した。

今回の研修は、若者や起業家の移住者が多く、ＩＴベンチャー企業のサテライトオフィスの誘致により多数の雇用を生み出している徳島県神山町の認定ＮＰＯ法人グリーンバレー理事の大南信也先生の「地方創生とまちづくり」というテーマでの講演があった。

平成３年、64年ぶりとなる青い目の人形の里帰りという成功体験を共有した町民が身の回りから少しずつ変わり始めた神山町、苓北町でも旧都呂々中学校の空き教室、旧郷土資料館、富岡城東角やぐら等を活用したサテライトオフィス化が計画されている。今ある財産を活かし、過疎の中身を改善するといった視点でのまちづくりが必要である、と感じた研修会となった。

熊本天草幹線道路の早期完成を求める天草島民集会

10月22日、天草市民センターで開催され、苓北町議会からも出席した。集会では、熊本天草幹線道路の早期完成の実現に向けて、「本渡道路」の令和４年度完成や「天草市志柿町区間」の令和５年度事業化などの大会決議が採択された。開通は、令和５年２月末日の予定。

熊本県で施工中の「本渡道路」（仮称）第二天草瀬戸大橋の新たな橋名は、「天草未来大橋（あまくさみらいおおはし）」に決定された。

また、天草市で施工中の「市道 今釜新町港町線」（仮称）港新橋の新たな橋名は、「本渡令和橋（ほんどれいわはし）」に決定された。

熊本県町村議会広報研修会

第16回熊本県町村議会広報コンクール表彰式と町村議会広報研修会が11月24日、益城町のグランメッセ熊本で開催され、県内町村の議会広報編集担当議員や事務局職員約１８０人が出席し、苓北町議会から広報特別委員会委員の４人と錦戸議長が出席した。

議会広報コンクールには県内31のすべての町村議会が昨年９月から今年６月までの定例会記事掲載号のうち１紙を応募し、審査された。（苓北町議会から令和４年１月21日発行、議会だよりきずな第１２０号を応募）

当日は、議会広報コンクール表彰があり、特選の大津町議会、入選のあさぎり町議会・津奈木町議会、特別賞の小国町議会・苓北町議会に対し、錦戸副会長から表彰状が授与された。

続いて、議会広報コンクールで審査された越地先生から審査講評があり、その後広報コンクール受賞町村の５人の広報委員長を交えパネルディスカッションが行われた。

研修会のむすびとして、読者にいかに読んでもらえるか、読んでもらうための工夫、企画力と特集をどう取り入れるかが、「広報紙」を作る上では、重要だと越地先生から助言があった。

パネルディスカッションの様子 ▲
右端が野田謙二委員長

▲ 特別賞の表彰を受ける野田謙二委員長

一般質問（12議員登壇）

浜口雅英 議員

一　安心して住めるれいほく

（一）自然災害への対応

問　曲崎は、先端部のコンクリートによる護岸は崩壊している。

年柄海岸船揚げ場斜路に大きなクラックが発生。海岸には大きく洗堀。

小路川左岸河川降口の適切な対応を。

太師山避難所頂上への利用路の安全確保等を真剣に、具体的に検討し住民の生命を守る施策を早急に実行すべき。

町道富貴迫線沿いの民家の存在する箇所が一部未施工。

富岡地区海岸には松並木に枯れ木が目立つという事でこの議会の中で幾度となく問題提起してきた。

答　補修、対策等検討する。

（二）避難所におけるペットへの対応

問　今後、避難を必要とする事態の発生に備えて避難所におけるペット対策を早急に確立すべき。

答　様々な条件等加味しながら検討する。

（三）新型コロナ感染症の現状

問　県内各自治体の感染者数の報道がされる様に熊本県や関係機関に働きかけるべき。

答　情報開示をお願いしていく。

（四）脱炭素社会への対応

問　今回の風力発電所建設に伴う土木工事の施工に当たられては、山崩れや、土砂崩壊等施工上の問題、或いは、民地等の竹木の処理にかかる補償等に問題が発生しない様に関係業者とは綿密な打ち合わせ指導を行うべき。

志岐地区に計画されている太陽光発電所は、どの様な形で進められているのか。

答　問題が起こらないよう努める。

二　いきいきと暮らせるれいほく

（一）道路の維持管理

問　道路パトロールを実施しておられるとの事だが、確実に路線ごとに要修繕個所をつかみ、短期間のうちに処置し町民の安寧に資するべき。

膨大な距離の道路に対しこれの適切な維持管理に今の陣容では無理。機構改革や予算の配分を考慮した取り組みを行うべき。

答　検討する。

（二）産業の振興

問　農業の振興に当たって遊休農地が目立っているその原因は。

志岐ダムの管理道路は入口付近の路肩が崩壊して道幅が狭くなり進入禁止。

町内の漁港等の沈船は漁業振興上何の影響もないのか。

富岡港の周辺は松の木が植栽されているがこれの落ち葉の処理や雑草処理は港湾管理者である熊本県の役割ではないのか。

富岡港にはフェリー就航時の車の乗り降りの桟橋が残されたまま。熊本県は、今後フェリーの就航等を計画されているのか。

答　県と役割分担し適切な管理に努める。

上津深江広域避難地の有効利活用について

野﨑幸洋 議員

問　上津深江広域避難地は、平成26年3月に苓北町介護・福祉ゾーンとして、また、津波災害時の避難場所として竣工した。

主に病院の入院患者・施設入所者等の仮設住宅そして、仮設病棟用地を目的とし、ヘリポートを兼ね備えた中で、面積5，953㎡。総工費は、付帯工事を入れると約2億3，810万円が投入されている。この事業は、緊急防災・減債事業債が主な財源であるため、災害時等の目的外で使用する事が出来ない事は承知している。

しかし、この土地に本来の目的である避難地としての役目を阻害することなく、利用出来る施設が整備できないかと考える。

例えば、**屋外イベント会場・オートキャンプ場・簡単なアスレチック施設。特に小さい子どもが安心して遊べる子ども公園などは避難地と併設した中で十分出来るのではないかと考えるが**、有効な利活用について検討されたのか？

町長　これまでの利活用については、上津深江の方のグラウンドゴルフや福祉施設の納涼祭等で利用がなされている。しかし、ここ数年の利用はない。今後の有効利活用として、議員から屋外イベント会場・オートキャンプ場・簡単なアスレチック施設の提案を頂いた。

当避難地は、交通の便もよく、見晴らしもいい為、オートキャンプ場等の施設には向いているとは思うが、近くに福祉施設もあり騒音等の問題があるため夜間の利用は難しいと考える。

しかし、昼間の利用については、児童公園等、町内外の方が楽しんでいただける施設も考えられる。

また、監査委員の定期監査でも「日常時の利活用を考えるべきである」との意見も頂いているため、今後の利活用について検討して行きたい。

髙戸幸雄 議員

①水田活用支払交付金制度見直の対策を
②志岐簡易水道事業整備計画について
③複式学級に対する取り組みについて

問①　水田活用制度は、減反制度に沿った転作奨励金制度が原型であると言われている。一定の所得保障制度が確立されたが農家の米作りに対する意欲が低下し離農の一因となったのではないか。その後制度の見直しが報道された。私は、令和4年3月議会でこのことによって遊休農地が多くなるのではないかと質問した。個々の現場課題を把握・検証しつつ適切に対応をしていくとの回答を得たが、その後何ら説明がなされてない。周知をすべきである。

町長　令和4年度から8年度の5年間一度も水張が行われてない水田は、9年度から交付対象としないというのが国の方針である。示した方針の具体的な内容及び見直しに伴う影響等について対象農家に対し周知徹底を図っていく。

問②　志岐低区配水池の整備は、昭和46年で既に50年を経過しており、経年劣化については否めない事実である。耐震を鑑み上津深江配水池同様の整備が急務である。国からの財政支援を受け財源の確保にめどをつけて早急な整備を望む。

町長　志岐低区配水池の構造は、鉄筋コンクリート造りで50年を経過している。耐用年数は60年となっているが、将来にわたり安全で安定した水を供給していくには、耐震性のある配水池への更新は必要と考えている。国庫補助金と過疎債等を併用し計画的に整備を図っていく。

問③　本町の児童数は、少子化の影響を受け年々減少となっている。学級数は4校24学級うち複式学級2校3学級となっている。複式学級では、一人ひとりに目が行き届くものの切磋琢磨の機会が少ない等が考えられるようである。学校に補助職員を配置して対策を講じられておられるが、天草市では市費負担の教職員によって教育環境の維持を図ったとある。本町の取り組みを。

教育長　複式学級は、法律に基づき編成されている。メリットを最大限に生かすべく学習支援員の特別配置等を行い取り組んでいる。町費負担の教職員雇用については、人材確保の面で厳しい状況にある。本町では、現在の支援制度をさらに充実していく考えである。

再質　子どもたちは、皆が平等に教育を受ける権利がある。更なる取り組みを願う。

田嶋豊昭 議員

帯状疱疹の予防接種について
苓北町として費用助成はできないか

問　帯状疱疹（たいじょうほうしん）の原因は、水ぼうそうのウイルスということ。症状としては、身体の左右いずれかにおいて針で刺したような痛み、赤いぶつぶつ、水ぶくれが帯のように出てくる、これが帯状疱疹とのこと。

いきなり、このような症状になるのではなく、もともとは、水ぼうそうを発症し、そのウイルスが体内にすみ続けていることが原因とのこと。

年齢を重ねたり、過労やストレスで免疫力が落ちてしまうとウイルスが再びその顔を見せ始め、これまでに水ぼうそうに感染したことがある人は、何らかの拍子で再び症状を起こす可能性があるということになる。

発症しやすい年齢は、中高年に多く、50代から70代まで。ただ、最近はストレスで、若い人に発症するケースも少なくないようだ。

日本では、成人の約9割がこのウイルスを保有し、80歳までに3分の1の人が帯状疱疹にかかるとか、また、加齢によって、発症が増え、中には痛みが1年以上続いて生活に支障が出るという者もあり、治療の遅れは、重症化につながるということで、早めの受診をと、最近、テレビ放映でも呼びかけられている。

一方、発症そのものを予防するワクチンが接種できるようになり、痛みの長期化を抑える効果も期待されている。50歳以上で水ぼうそうなどにかかったことがある人が対象で、これが、今のところ、自己負担の任意接種となっている。

ワクチンの種類も2種類あるようで、不活化ワクチンだと1回の接種費用は、約2万円と高額で、なおかつ2回接種が必要となり、生ワクチンに比べると予防効果が高く、またその効果が長時間持続し、がんや膠原病などで免疫が低下している人でも接種できる点が優れているようだ。

この帯状疱疹予防接種につき、健康寿命を延ばす観点から苓北町として費用助成ができないか、伺う。

町長　苓北町としては、他の予防接種もあることなので、熊本県内の予防接種の費用助成状況を見極めながら、伝染性がない帯状疱疹の予防接種の費用助成については、慎重に行って参りたいと考えている。

◎AED救命機器の所在、配置方法ほか3件について質問した

松本良人 議員

問 貴重で悲しい体験をした。使用できるAEDがあったらと悔やんでも悔やみきれない体験である。

このことから、**AED救命機器の所在、配置方法**を尋ねる。

また早急に、**24時間利用出来る体制の構築**を求める。

町長 休日等開館している施設に協力をお願いし、**対応を検討する**。

問 ここ数年、異常気象の影響が全世界に発生し、原因はCO2によるものと言われ、**全世界において特に温室効果ガス排出量削減**については各国排出量削減の目標が設定され、対策が取られている。

苓北町の発電所は石炭を燃料とした発電の為に、CO2の発生は避けられず、電源立地町の町民として、**CO2の軽減に、貢献するための活動**を始めてはと思うが？

また、庁内においても、それぞれの立場で**CO2排出削減に向けて計画、実施を望む**が町の考えは？**（他町と変わりない対策の回答である。電源立地町として独自なCO2削減対策を聞いたが回答なし）**

再質 町長、町職員と共に会合に出席した。熊本県庁及び、上天草市松島庁舎で行われたが、苓北から5名の参加で3台の車が使われた。

2市においては経費節減、CO2対策から一台と推測されたが？

町長 コロナ対策から密を避けた…**（自分勝手な言い分、歯切れの悪い答弁があった）**

問 **苓北発電所は苓北町にとっては経済面、財政面から又、日本の電力事情にも、重要なものである。**

私たちは、少しでも石炭灰の有効活用を見出し、**苓北発電所に協力**して行かなければならない。

これまでに行われてきた石炭灰の活用は、全ての町民が納得いくやり方ではなかった。賛否両論ある中、どのようにお考えか尋ねる。

事業実施により不公平や、被害が出ないように関係条例を整備され、石炭灰活用計画等を作成し事業の公表を行い、個人の負担に格差が生じないように、他の負担金徴収等参考に、入念なる**法の整備を求める**。

町長 地域資源の活用を図るためにも必要な事業への石炭灰リサイクル製品の活用を検討して行く。**（個人の負担に格差が生じないように、法の整備を求めたが、肝心の回答なし）**

再質 一事業が否決されたことで、工場閉鎖に追い込まれたという事だが、見通しすら解らない行政執行はあり得ない。この様なことを引き起こす**町リーダーこそ反省**すべきであると思われるが。**（この件にも、確たる回答なし）**

問 **平成27年3月議会から2期8年要望をしてきた未達成箇所の進捗状況について尋ねる。（5点の報告の内4点について納得いく状況報告では無かった）**

政府の第二次補正予算案に併せ、国庫補助金と別に町単独の支援策を

倉田明 議員

問 物価高に対し、政府は11月8日令和4年度第二次補正予算案29兆861億円の一般会計を閣議決定された。

8月臨時会では、国のコロナ臨時交付金3，982万円で保育所副食費負担軽減、学校給食費負担軽減、水道・下水道等利用者支援事業補助金で町民負担が軽減された。

9月定例会では、コロナ関係で国・県の交付金約5，530万円で、ワクチン接種ほか各事業や、農業者に対し資材高騰対策補助金10a当たり1，000円の給付で350万円（150戸程）が計上されたが、資材高騰について行けていない。また、令和4年度はレタス生分解性マルチ資材購入に約800万円の補助金で、労働力や資材経費の抑制ができた。令和5年度も同様の補助を願いたい。

漁業者には、燃油高騰対策補助金として、令和4年9月16日から令和5年3月15日まで購入した軽油・重油1ℓ当たり29円の174万円が組まれた。

天草家畜市場の昨年11月1頭当たり平均価格は、77万4千円、今年11月は59万9千円と17万5千円の下落。併せて、来年4月合併となる天草畜協の生産者は、市場が菊池郡に移り輸送等で経費も嵩む中、今回の飼料価格高騰に対し、国・県の支援は特に無いと聞く中、支援する市町もある。町支援の考えはないか。

11月25日臨時会では、国から住民非課税世帯一世帯に5万円の7，041万円が示されている。また、国の第二次補正予算案は今年4月以降出産した女性に10万円の支援があるが、これらは国庫補助金が主である。

現在、町の条例では出産した乳児第1子1万円、第2子3万円、第3子以降5万円が給付されているが、増額できないか。併せて、農林水産事業者等に対し、国県補助とは別に町独自の支援を願いたい。

町長 燃料や生産資材等の価格高騰が長期化している中、生分解性マルチ購入支援は来年以降も継続したいが、コロナ収束までの時限的な措置とし、その後は国・県や関係各所と検討して参りたい。

また、令和5年10月家畜市場が菊池郡大津町に移ることで、輸送コスト増加分に対し補助支援策を、令和5年度予算で検討したい。

子育て支援は周辺の状況を見て対応したい。

再質 事業者の努力が基本だが、思い切った補助金の検討を願いたい。

課長 他の意見も考慮し、検討する。

①マイナンバーカードの活用について ②上津深江港簡易浮桟橋の早期復旧について

山口利生 議員

問① 苓北町のマイナンバーカードの取得率は、令和4年10月末現在73・3％となり、熊本県内市町村で1位、全国町村で10位の実績をあげており、来年度の地方交付税の増額が見込まれるところ。一方で、苓北町ではマイナンバーカードの利用ができないため、税金の無駄遣いではないかとの声もあがっている。先進自治体では、住民票の写しや印鑑登録証明書等の市区町村発行の各種証明書を全国のコンビニエンスストア等の店舗で、いつでも、どこでもすぐに取得できるシステムを構築し、住民の利便性向上や受付職員の負担軽減を図っている。

政府は、第2次補正予算案に800億円計上したデジタル田園都市国家構想推進交付金のマイナンバーカード活用事業の配分方法を決定し、補助の可否審査で住民のカード取得率を勘案するとされた。苓北町も、カード取得率が全国平均を大幅に上回るこの機を逃すことなく、他の自治体の優良モデルを参考に活用計画を早急に立案・申請し、国から交付金を優先的に配分してもらい町民の利便性向上と職員の負担軽減を積極的に行うべきと思うが考えを問う。

町長 新たなデジタル田園都市国家構想推進交付金については、国からの正式な制度内容を精査したうえで研究していく。マイナンバーカードの活用も含めた今後のデジタル政策については、本年度策定中の「苓北町DX推進計画」で方向性を示したい。

問② 9月18日から19日にかけ熊本県内を通過した非常に強い台風14号により、上津深江港の浮桟橋の中央部分が大きく折れ曲がり漁船等の係留ができなくなっている。浮桟橋利用者は、船舶を志岐漁港に回したり陸上に引き上げたりしており、大変不便な環境に置かれている。上津深江港は、釜区や上津深江地区の漁業者等にとって重要な港であるので、浮桟橋の早期復旧に対する考えを問う。

町長 被災後、浮桟橋利用者と浮桟橋の修繕、新設及び整備方法について3回の協議を実施したところ。利用者の意向は、現施設と同程度、同規模の施設整備を希望されており、整備工事費は概算で約2千万円程度必要である。国県等の補助対象事業に該当しないことから、来年度整備に向けて検討を重ねている。

①介護保険の見直しで要介護1と2の人の処遇について ②命を救うAEDの設置状況は ③災害時の避難と避難訓練の在り方

石田みどり 議員

問① 介護保険制度は2000年4月に導入。それまで措置制度だったのが保険制度へと移行された。介護保険制度から22年。この間保険料は平均3，000円だったのが2倍になり、要支援者の介護保険はずしや、入所者の食事代の全額利用者負担、家事援助の時間短縮など、サービスが使えない、事業者も減収になるなど矛盾が出て来ている。厚労省社会保障審議会でさらなる利用者負担と供給削減、保険はずしが検討され、今年年末までに意見をまとめ、来年の国会で審議される予定である。内容は利用者の一割負担を二割に。要介護1と2を介護保険からはずし、自治体の地域支援サービスへ。保険あって介護なしの状態となる。介護保険料を払っても8割が利用していないという統計も出ていて、介護保険は黒字である。苓北町の高齢者で介護保険料を払っていても利用していない割合は。要介護1と2が地域支援サービスになった場合、体制はとれるのか、対応は可能なのか。

町長 令和4年10月現在65歳以上の高齢者は2，881人で認定者は486人、16・9％。各方面からの情報収集に努め、介護保険サービスが向上できるよう県や国へ要望していく。

問② 心筋梗塞などで体調が急変した折AEDを使用し命が助かったとよく耳にする。町内の公共施設には設置してあると思うが、町民には知らせてあるのか。又、主要なグラウンドに常備してあるのか。グラウンドで倒れても、公共施設が休みの時、又、一秒を争う時、間に合わないと思うので、グラウンドにも常設するべし。又、都呂々グラウンドに時計の設置を、との声が出ている。

町長 町内AEDの設置は公共施設に12台。教育施設に21台。医療機関その他施設に28台。合計61台設置している。グラウンドは盗難等の管理上、設置していないが、検討していく。都呂々グラウンドに時計は設置する。

問③ 11月6日避難訓練時、子ども と元気な人の姿しかなかったが、要支援者や老人等への対応はどうなっているのか。訓練時にできなく、いざという時にできるはずはない。要支援者名簿等の活用もできていないのではないか。

町長 11月6日の訓練には、1，150人が参加したが、高齢者等の参加は少なかった。要支援者等への避難の仕組みづくりを再検証していく。

苓北町の将来の市場開発について

二野田謙一議員

問　以前、私は苓北町に大型資本のホテル誘致について質問をした。その結果、誘致企業の候補にホテルを入れていただいて感謝している。それと言うのも、そもそも観光客の増大より町内市場を拡大して、苓北町での消費を増大させることを目的としている。

ただし、消費の増大と言っても、言葉でいうのは簡単だが、その実現は、それほど簡単にいくものとは思っていない。

もちろん小資本の宿泊所が苓北町に進出するのは一向にかまわない。だが、町内に大型資本のホテルが誘致できた場合は、宿泊者へお土産用の販売を行うショップも併設されるだろう。そのショップを、他の宿泊所の顧客や苓北町民も利用しやすいように、外部への開放を強くお願いしてもらいたいと願っている。それは、先進的なサービスを町民にも幅広く接してもらいたいためだ。

個人的な意見で申し訳ないが、熊本県は、日本国内で最低レベルの賃金での労働を余儀なくされている。現在は、1次産業も2次×3次の6次産業への変化を求められる時代であり、全ての産業に3次産業のサービス業の感覚を取り入れていただきたいと願っている。大型ホテルにはお土産の販売だけでなくレストランやカフェ、その他医療や結婚式といった都市型のサービスを売りにしたシティホテルの形態での進出を願っている。

私のこの考え方は誇大妄想だろうか？それともリアリティがあるだろうか？

町長　誇大妄想かどうかは、私には判断が出来ない。だが、苓北町は、野田議員の提案をしっかり実現させていかないと観光立地町としては成功しないのではないかと思う。以前は400名以上の宿泊も可能だったが今では100名ちょっとの宿泊しか出来ない。発電所の整備工事で300名もの宿泊が必要だが、町内だけでは対応出来ず、天草市内での宿泊をお願いしている状態だ。友人に大手旅行業者がいて、相談したのだが、今の苓北町では旅行ツアーは組めないとのことだ。

私の町長としての任期も残り少ないのでお客様の多様なニーズに応えられる町づくりが出来るよう、次の町長に引継ぎを行うこととする。

ペット同伴避難所の開設について

廣田幸英議員

問　令和4年9月18日から19日、台風14号に伴う避難所が、苓北町においても町当局により開設、運営がなされた。

坂瀬川公民館、総合センター、富岡公民館、都呂々公民館及び志岐集会所。

取り分け、志岐集会所においては、体調不良者、新型コロナウイルス感染者、その濃厚接触者に特化した避難所が開設、運営がなされたと聞き及んでいる。

最近、私の住む地域の住民の方から相談があった。台風襲来に伴う、高波・高潮の影響を受けやすいとも言える地域に住んでいる方で、ペットを飼っているが、避難所に行ってもペットと一緒の避難ができない、そうであればもう少し様子をみようと思ってしまう、どうにかならないか、との内容だった。

このことにより、ペット同伴避難所を整備する重要性を再認識し、今回の質問に至っている。

ペットの避難所が駐輪場や軒下では、日ごろから家族として生活している飼い主にとっては安心して、ペットと避難できる状況ではない。もちろん、飼い主も日ごろからペットとの災害対応について、きちんと学んでおくべき、であるとも思う。

町民の生命と財産を守る町当局には、ペットの命の先には、飼い主である人間の命がある、と強く認識していただきたいと、このように思う次第である。

冒頭申し上げたが、志岐集会所において、体調不良者等に特化した避難所が開設、運営がなされた。

今回、旧都呂々中学校校舎、旧学校施設の空き教室を利用したペット同伴避難所を次の大規模風水害等時に実証事業として、開設、運営していただくことを提案させていただく。

町長　旧都呂々中学校校舎を利用したペット同伴避難所の実証事業については、当該施設は、サテライトオフィスとして風力発電事業関連の事務所として、貸し出す計画もあるので、不明確な部分もあるが、当該施設を含め、町全体の公共施設の状況を再度確認しながら、安心して避難できるペット同伴避難所の開設ができるかどうか、様々な条件も加味した中で検討を重ねて参る。

①2040年問題に向けての施策と課題について
②健診について

錦戸俊春議員

①2040年問題に向けての施策と課題について

問　大きな課題は「現役世代の急減」にある。厚労省の試算によると、社会保障給付費（医療、介護、年金、保育など）は、2018年には「121兆円」であったのが、2040年には「190兆円」となり1・6倍になると予測。社会保障給付費「医療」が1・7倍、「介護」が2・4倍の増大が予測されている。2040年には85歳以上の高齢者が1，000万人を突破し、医療・介護のニーズが高まる一方、医師や介護士が不足し、十分な医療・介護が受けられない可能性が出て来るとされている。

また、高齢者の貧困化、自治体で整備したインフラが老朽化し、維持管理費の増大が懸念される。

国の施策として、①「定年延長」「就労支援」②ロボット・AI・ICTなど実用化を進め、医療・福祉サービスにおける生産性の向上③健康寿命の延伸計画④地域包括ケアシステムを充実させ、介護サービスの主体を国から自治体へ移行しようとしている。苓北町の人口も、推定で2040年には4，453人になり、高齢者が2，399人、高齢化率が53・8％になると予測されている。施策と課題について伺う。

町長　現役世代の急減により、1人を1・5人で支える形になると言われている。

本町も、「医療や介護などの社会保障費の増大」「インフラの老朽化に伴う維持管理費の増大」が懸念される。高齢者一人ひとりが介護プログラムへの参加、運動・食事に心がけ、健康寿命を延ばすこと、自助・共助など地域で支えあうことも大事である。

長期的視野に立ち、健全な財政運営に努める。「創生総合戦略」や「介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」など町の将来ビジョンに掲げた各種施策も、随時検証し、国・県の動き、社会環境、町民のニーズの変化を的確に捉え、ビジョンに反映、実践していくことで課題解決に努めて参る。

②健診について

問　苓北町と隣接の天草市との健診内容に違いがある。町民の健康を守る観点からも、費用はかかると思うが、できるだけ幅広く容易に受けられるよう配慮できないか。

町長　隣接の天草市と比較した場合、大きな違いはないようだが、対象者年齢の違い、受診方法、個人負担金の額は、本町が拡充している項目、天草市が拡充している項目がある。それぞれ精査した中で、新年度予算に反映できるよう努めて参る。

田嶋町政8期32年の総括と苓北町の未来について

山本政人議員

問　田嶋町長は、先の9月議会定例会の一般質問に対する答弁において、今期限りでの引退を表明された。

32年間のご労苦に対し、深甚なる謝意を表するものである。

しかしながら、我が国は、今歴史の大きな転換期にあるといっても過言ではない。本町にとっても地方分権、地方主権の渦中にあって、より強い自治体を構築しなければならない。

平成2年の「1・57ショック」の翌年の平成3年に、初当選された田嶋町長。

他の自治体に先駆け、「少子社会は国を滅ぼす」の考えの下、子どもを生み育てやすい環境づくりに向けての施策に着手された。中でも、当時、秋田県で行なわれていた、第3子以降の保育料を全額助成する事業を熊本県天草郡苓北町、本町において導入されたのである。

遅きに失した感はあるが、令和5年4月には、国において「こども家庭庁」が発足する。

この質問において、基礎自治体としての基本認識を再確認、今後の本町行財政展開に役立てることができれば、との思いから、田嶋町政8期、32年の総括と苓北町の未来について、田嶋町長に伺う。

町長　町政8期、32年の総括
①下水道の整備　②子育て支援
③九州電力との環境保全協定の見直し
④平成の大合併
⑤企業誘致　発電所　都呂々ダム
　エコアッシュ
⑥熊本天草幹線道路
⑦中山間地域総合整備事業
⑧水道事業
○笹尾浄水場整備
○公営企業会計への移行

前記②、少子化対策については、やはり、国を挙げて取り組む事項だったと痛感している。今後、少子化がこのまま進行する中で、人口が減少し、歳入が減少する事となるが、現行の交付税制度では、そのことは補われることとなる。財政の健全化としては、過疎地域の指定を受け、地方債残高の縮減に取り組み、令和4年度末見込みで臨時財政対策債を除く実質額が約18億円。また、財政調整基金と減債基金を合わせた基金額は、約14億円となっている。今後は、天草広域連合新ゴミ処理施設整備にかかる負担金、苓北中学校の校舎改築等、大規模な予算措置が必要とされるが、過疎地域指定による過疎債を上手に利用しながら十分やっていけるものと考えている。

再質　国会議員の先生方の秘書時代の数多くの経験を基に、苓北町の発展に多大なる貢献をいただいたことに深く感謝申し上げる。

田嶋町長にしか、成しえなかった偉業、また、時には孤独の決断もあったことだろう。心から敬服する。

長い間、ありがとうございました。

議会日誌

※主なものを載せています

（11月１日以降分）

11月

９日　町村議会議長会全国大会
　　東京・NHKホール
24日　県町村議長会議会広報コンクール
　　表彰式・議会広報研修会
　　グランメッセ熊本
25日　令和４年第７回議会臨時会
25日　議会広報特別委員会
28日　議会運営委員会

12月

６～８日　令和４年第８回議会定例会
６日　議会運営委員会
７日　全員協議会
８・22日　議会広報特別委員会

1月

10日　議会広報特別委員会

次の議会（臨時会）は 2月です。

11月臨時会の傍聴者は、
6人でした。

12月定例会の傍聴者は、
65人でした。

会議録は『苓北町役場ホームページ』
https://reihoku-kumamoto.jp/gikai-gijiroku/
で閲覧できます。

“定例議会の一般質問がインターネットで聞けます”

苓北町ホームページ
→ 各課からの案内
→ 議会事務局
→ 議会一般質問・音声

上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。

編集後記

明けましておめでとうございます。

さて、来月４日をもって第17期苓北町議会議員も任期満了となります。

この苓北町議会だより「きずな」第１２４号が今期最後の発行となります。

その苓北町議会だより「きずな」が熊本県町村議会議長会から特別賞という栄誉をいただきました。

これは、制作している委員として、大変驚いた次第であります。実際に「きずな」制作の現場では、予算の関係からフルカラー印刷が難しく、加えて、写真やイラストなどが少ないということ等で、他町村と比較して、時代の流れに乗っていないとの感も一部あります。

そのような中、審査員から議案の議決に至る「討論」の記載を重視、審議のプロセスを読む人に伝えることが議会広報の大きな役割であり、評価できる、とのコメントをいただきました。

これからも苓北町議会だより「きずな」をよろしくお願いします。

議会広報特別委員会

※とじて保存しましょう。

議会だより　きずな
●発行／熊本県苓北町議会　〒863-2503　熊本県天草郡苓北町志岐660　TEL0969-35-3337
●印刷／㈱印刷センター　〒863-2114　熊本県天草市五和町城河原2-73　TEL0969-28-6700